

お元気ですか

クラウドファンディング 実施中!

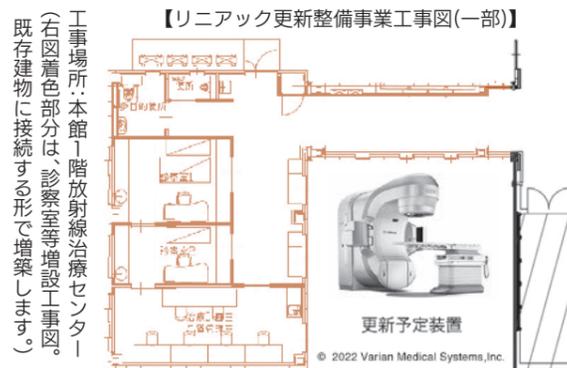
当院は、湖北地域のがん診療連携拠点病院として、これまで多くのがん患者さまの治療にあたってきました。

今後、地域のがん拠点病院として、がん療法の一つ「からだの負担が少ないがん治療」を行っていくため、リニアック更新整備事業を実施します。15年近く稼働している治療装置の更新と、診察室の増設等工事を予定しており、これにより、当院で継続して高精度放射線治療を行うことができます。

この事業は、病院に数多くある医療機器の中でも特に高額なもの更新や、診察室等の増設工事をすることで、患者さまにより一層の快適な治療環境を提供したいと考えております。

そのため、少しでも地域の皆さまからのお力添え・温かいご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※リニアックとは：放射線を体外から皮膚を通してがん患部に当てることで治療する装置



■目標金額
1,000万円

■実施期間
12月25日(日)まで

■支援金の使い道
リニアック更新整備事業のうち、診察室等増設工事【右図着色部分】費用の一部に充当

■寄附の詳細は左記QRコードから



▲クラウドファンディング 詳細ページ

問 市立長浜病院 総務課
☎ 68・2300(代表)

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

市長コラム① ひとことめし 一言主



浅見 宣義

「長浜450年祭」

長浜は名立たる偉人たちによって、古くから時代の転換期を担い、長い歴史を築いてきたまちです。積極的に新しい物事に取り組んでいく人がたくさん生まれました。およそ450年前には、長浜に生まれた武將(以下敬称略)として、浅井長政・久政、脇坂安治、田中吉政、石田三成、大谷吉継、増田長盛、片桐且元、小堀遠州、長浜に土地を拝領した武將として、豊臣秀吉、山内一豊、浅野長政、堀秀政、柴田勝家、長浜で活躍した武將として加藤清正、福島正則、加藤嘉明などさまざまな名前が並びます。一人ひとりが時代小説の主人公になることができ、これらの武將が長浜に関係していることは郷土の誇りです。この時代の大きな転換期となった1573年は、この地の政治の中心が小谷から長浜へと移ろうとし、秀吉が今の長浜につながる素地を固めた年でもあります。

市は、そこから数えた2023年に長浜450年祭を開催する予定です。

です。内容は、上記の武將に関係する小谷城戦国まつり、賤ヶ岳まつり、豊公まつり、曳山まつりのほか、観音の里ふるさとまつりなど歴史に縁のあるお祭りや、まちづくりに関連する長浜なつまつりなどを、市内全域でリレー式によって年間を通して開催する形を考えています。この長浜450年祭を、コロナの時代を乗り越えて、観光誘客も大々的に行い、長浜全域を元気にするお祭りに行きたいのです。

長浜には市内各所に観光地や史跡がたくさんありますが、市内の地域同士が連携を深めることで、更なる盛り上がり期待できます。長浜450年祭をきっかけに、そうした連携・協力や、より一層地域の一体性を深めていきたいと考えています。皆さん、ぜひご協力ください。



▲豊公まつりの様子

「市民からのメッセージ」は、今回は令和5年4月号に掲載します。ご意見やお問い合わせは、ホームページや本庁舎・各支所に設置しているご意見箱からできます。

●広報ながはまに関するご意見 (今後、特集を希望するテーマ)

年齢 歳 (男性 ・ 女性)

※担当課からの返事をご希望の場合は、氏名・ご住所・連絡先(電話・メールなど)をご記入ください。

●市政に関するご意見

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

長浜市指定文化財 「阿弥陀三尊像(知善院)」

所在地：長浜市元浜町
指定日：平成22年4月26日

形式に微妙な変化を付けながら、腰を捻って片足を踏み出し、襷を重ねた衣の裾を大きく翻らせるなど、動きのある姿を見せています。沈んだ表情や、やや硬さを感じさせる体付き、衣の表現などから鎌倉時代後期(14世紀)の作と考えられます。

江戸時代の地誌『近江輿地志略』によれば、本像は羽柴秀吉が播磨出兵の際に書写山円教寺(現兵庫県姫路市)から長浜に移座し、知善院に寄進したといわれています。秀吉が姫路から仏像を移したとの伝承は、長浜市内の舎那院や徳勝寺などにも見受けられ、長浜と秀吉の歴史を知るうえで、意義深い像といえるでしょう。



▲勢至菩薩像 ▲阿弥陀如来像 ▲観音菩薩像

問 歴史遺産課 ☎ 65・6510

たに折り